

平成31年度次世代ボランティア人材育成事業 「2020ちばおもてなし隊トライアルステージ」の実施結果

I 事業の目的

今年度はラグビーワールドカップが日本で開催され、千葉県もいくつかの都市がキャンプ地に選定された。また、2020年のオリンピック・パラリンピックを前に、県内でも国際スポーツ大会が開催された。このような機会をとらえ、高校生・大学生などが参加しやすいおもてなし活動・ボランティア活動を推進することとした。

実施に当たっては、これまでの2020ちばおもてなし隊活動の中で培われた高校生等と大学生のつながりを継続・発展させ、高校生たちの提案も踏まえ、若い世代の皆さんが活躍する場を創出し、その力を生かすことを目指した。

2020ちばおもてなし隊トライアルステージでは、多様な交流の場づくりを目指し、おもてなし隊の基本理念である「参画」と「つながり」から2020年以降のボランティア活動やボランティア人材の育成につなげることを目指した。

II 事業計画

上記Iの業務目的を達成するため以下の5事業を計画した。

1 高校生たちのボランティア・おもてなし活動の輪の拡充

SNSを活用し、高校生たちがおもてなし活動についての提案や情報の共有をする仲間の「広場（仮称）」を創り出す。この「広場（仮称）」での提案などをもとにしながら、新たなボランティア・おもてなし活動を実現し、「広場（仮称）」に参加する高校生たちの参画意識を高める。

(1) 「広場（仮称）」への参加者づくり

県内の高等学校及び特別支援学校を通じて「広場（仮称）」への参加者を募集

「広場（仮称）」ではおもてなし活動などへの提案、情報提供、情報交換などを行うほか、必要に応じてアンケート調査を実施

(2) ワークショップの開催

「広場（仮称）」に提案されたアイデアを実現するため、大学生などの協力により「広場（仮称）」参加者によるワークショップを開催

2 高校生・大学生の提案事項の実現

これまでの2020ちばおもてなし隊の活動を通じて高校生、大学生から提案のあったアイデアを実現する

(1) バリアフリーマップの作成と普及

(2) 太巻き祭り寿司によるおもてなし

(3) 成田空港での日本文化体験によるおもてなし

(4) 「やさしい日本語でコミュニケーション」及び「地震パンフレット」活用

3 おもてなし活動の実践体験機会の提供

ラグビーワールドカップの開催年であること及びオリンピック・パラリンピック開催の前年であることを踏まえたおもてなし活動の実践体験機会を提供できるよう努める。

(1) ボランティアトライアル2019（仮称）の開催

神田外語大学と連携・協力して、外国人親子、大使館関係者等に参加頂き、高校生・大学生がおもてなし活動の模擬体験その他を通じて交流し、オリンピック・パラリンピックへの機運を盛り上げる。

主な内容

- トークセッション （仮題）「在日大使館員から見た千葉の良さ」
- 参加の外国人親子と対象にした日本文化・パラスポーツ紹介
- 交流ランチ
- オリンピック・パラリンピック出場選手によるトークセッション
（仮題）「みんなで楽しもうオリンピック・パラリンピック 心のレガシーに」

(2) おもてなし活動の提案と実践

ラグビーワールドカップキャンプ地に選定された自治体（浦安市、柏市、市原市）及び国際スポーツ大会（フェンシング、ゴールボール）の主催団体等に大学生等が企画したおもてなし活動を提案する。

実施可能な場合は、「広場（仮称）」参加者及びその他の高校生たちにおもてなし活動への参加を呼び掛ける。

4 「パラコネクト」事業の普及促進

学生団体おりがみが昨年度のフォーラムで提案したパラコネクト（大学生と特別支援学校の児童生徒がみんなで考えたパラスポーツを共に体験することで交流する）に、高校生なども参加し、交流の輪を広げるよう普及促進に努める。

「広場（仮称）」参加者及びその他の高校生たちにパラコネクトの意義を紹介し、参加を呼び掛けることで参加の機会を提供する。

現在、大学生たちと交流している特別支援学校以外の学校への事業紹介 など

5 フォーラムの開催

ボランティア活動、おもてなし活動の成果などについてより多くの高校生たちが共有し、おもてなし活動などを「自分ごと」をして考え、参加するきっかけづくりや、多様な交流の場となるようフォーラムを開催する。

フォーラムは、次のような構成とする。

- おもてなし活動の実践事例発表
- テーマを設定しての大学生、高校生たちによるグループ討議
- 全体交流会